

業務連絡

2014/04/23 No.12

J R 東海 労新幹線関西地本
業 務 部

4月22日、16時50分頃より約30分間、支社会議室において「申」について組合側幹事並びに会社側幹事による日程調整等を実施しました。

日程調整等は「申」7件について行いました。

また、「申」1件を申し入れました。

申し入れ内容

「申」第48号：大阪修繕車両所における「Z27編成の速度計取替作業」に関する申し入れ

調整内容

○地本よりの申し入れ

「申」第41号：大阪修繕車両所における操縦・操車の資格取得・養成等に関する申し入れ

「申」第42号：「逸脱防止ストッパー未装着台車」に関する申し入れ

「申」第44号：大阪仕業検査車両における「2014年度ダイヤ改正」に関する申し入れ

「申」第45号：「乗務点呼時に関する掲示内容の報告と乗務手帳の記入について」に関する申し入れ

「申」第46号：大阪修繕車両所等における「ワイパー取付状態確認作業」に関する申し入れ

「申」第47号：「苦情処理会議における通知書を発行しないこと」に関する緊急申し入れ

日程調整した「申」第42号については5月15日木曜日、14時より開催を予定しています。

「申」第41号、第44号～第47号については「調査中」として「保留」となりました。

また「申」第43号：「新大阪駅構内の大阪市観光案内所廃止」に関する緊急申し入れ、については開催に関して認識の違いがあり、会社側としては3月25日開催の事前審理時に「付議事項にあたらぬ」として業務委員会の開催を「拒否」していると主張し認識の違いがあるため改めて会社の見解を聞きました。

さらに「申」第46号については、現時点において原因が不明なため、現状確定している事柄について説明を受け、幹事間回答としました。

《会社説明の要旨》

「申」第43号について

会社：大阪市の政策なので会社として大阪市に強く言うことはできないものの、案内所がなくなった際に対応できるように、3月末で案内所からパンフレットを頂いて、

梅田や難波の方に案内所があるので、「どうしても」というお客様はそちらに案内する。どうしても英語というのであれば、駅の中でも英語を話せる社員がいるためそういった方々を活用してもらいなり、あるいはJR西日本の「サービスコーナー」であれば、外線でインフォメーションセンターのようなところに電話ができ対応できるようなので、そういったところを工夫しながら、対応して頂きたい。

組合：他力本願である。

会社：それはあるが、英語教育に力を入れていくということは経営協議会でも伝えている。対応能力を上げて頂く。これまでも案内所は他力本願なところがあった。

「申」第46号について

会社：概況について説明したい。新幹線地本でも同様の申し入れが出ていて、明日（23日）に事前協議のようなものを行うと聞いている。関西と幹鉄で時期がずれるのは良くないと考える。よって概況を説明したい。

組合：概況説明で終わりなのか。

会社：なぜ業務委員会を開催できないのかということ、原因が推測の話しかできないため。推測の話で原因を話して、かつ推測の原因に対する対策もしようがないので、議論できないため。

組合：原因がハッキリしないということか。

会社：そうである。見解は幹鉄の車両課で原因を調査して、恐らくこうであろうというものにはわかっている。しかし推測の域を出ないもの。かつ外的な要因によるものである。推測の状況を説明したい。

組合：業務委員会になじまない等ではなく、業務委員会を開催できないということか。

会社：そうである。開催したとしても仮定の議論をすることになり議論の余地がない。概況は

4月1日。7時50分ころ。回送列車の120A、X70編成。

車掌の申告によれば、新岩国から広島間を走行中に対向車両とすれ違った。そのときに異音が生じたことと指令に報告。車掌が状況を確認したところ、7時45分頃、1号車にて対向列車とすれ違った時に「ドン」という音を感知して、その際にワイパーを確認したところ落失していた。

列車遅延については設備点検等があり22Aが広島駅に6分遅着。その他32本の列車が7分～1分遅延している。当該の120Aは遅れはなく、そのまま登り列車として走行し、最終的に当日中に東一両に収納されている。X70編成は東交両の所属。ワイパーはその後、新岩国～広島間で発見されている。設備等に影響はなかった。

ここからは推定原因となる。120Aという上り列車の最後部、1号車であり、何かものが当たって壊れたのであればわかりやすいが、鳥とかが当たっていれば死骸等があるが、そういうものは無かった。落ちていたワイパーを見たところ非常に曲がっていた。強く曲がっている。何らかの外的な力が加わって曲がったような状況。推測であるが、ビニール袋のような飛来物がある、ワイパーに絡まって、それがパラシュートのようになって空気抵抗を受けて強く引っ張られたのではないかと。大きな力が加わらないと曲がらないようなものだった。ボルトが外れて

落ちたようなものではなかった。

組合：現在も調査中であるが、異常は見つかっていないのか。

会社：そうである。通常行う修繕以外、形状に異常があるようなものは見つかっていない。

組合：車掌もワイパーに何か絡まって飛んでいったのは見ていないのか。音を聞いただけなのか。

会社：そうである。

組合：再発防止策はないのか。

会社：外的要因が原因と考えているが、一応、念のためボルトとかワイパーの形とかそういうものを見ている。関係するような異常は見つかっていない。明確な原因があれば業務委員会開催となるが、鳥であっても無理がある。何かしら本件に関係するような事があればお知らせする。

以上